

2026
No.1

科・ぼ・せ・ん News Letter

2026.4.11発行

<https://ridai-svc.org/>

令和8年度 科ボラへのお誘い



竹崎 誠

科学ボランティアセンター
センター長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

高原本先生の後任として、科学ボランティアセンター長を務めることになりました竹崎誠です。私自身、センター長としては「1年生」であり、至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

皆さんは「科学」と聞いて、どのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。高校までの教科には「科学」という科目はありません。しかし、多くの場合、「理科（物理・化学・生物・地学）」に近い印象を持たれるのではないのでしょうか。これらは「自然科学」と呼ばれますが、科学にはほかに、工学や農学などの応用科学、情報工学などの情報科学、数学を含む形式科学、さらに人文科学や社会科学といった分野も含まれ、実は私たちの社会のあらゆる側面が科学の対象となっています。

当センターでは、その中でも主に理系分野の科学を対象に活動しています。大学での本格的な演習・実験や卒業研究に取り組む前に、まずは実験や観察を通して、科学の原点である「ワクワクする体験」に触れてみませんか。科学の魅力を共に分かち合えることを、心より楽しみにしています。

科学ボランティアリーダー

理大には、独自の認定制度があり、豊かな発想力と企画力、そしてコミュニケーション力と実行力を持ち、企業・地域で活躍できる人材として「科学ボランティアリーダー」を認定しています。

そのための学修をし、経験を積む為の授業が用意されています。

1年生でぜひ取っておきたい授業

科学ボランティア入門(必修) 春学期

月曜3限 or 水曜3限 or 金曜3限

リーダー認定を希望する人は、1年生で、まず受けてほしい授業です。

期末の発表会で、グループごとに実験・工作の実演をすることが目標です。グループは学科・学年をランダムに編成します。思わぬ才能・発想を持った新しい仲間との出会いが、自分でも気づかずにいた自分自身の力の発見につながります。

科学ボランティア実践指導 1(必修)

秋学期 水曜3限 or 集中時限

「入門」の次に、ぜひ履修してください。

知った仲間とグループを組み、1グループに教員が一人付きます。

前半終了時、実際に子どもを相手にした実験・工作を行います。

後半は、さらに実験・工作の方法や発表方法等を工夫します。

2年生以上の学年の皆さんは、「実践1」「教材研究」を履修してください。

修了認定証：オープンバッジとして発行。 2・3年生でも取得可能です。

科学ボランティアセンター コーディネーター 紹介

科学ボランティアセンターには、4人のコーディネーターがいます。科学ボランティア関連の授業での指導のほか、スタッフ会のボランティア活動を支援しています。それぞれ、理科を専門にしていたり、おもしろ実験や科学工作を学校や公民館等の施設で行ったりする「科学の伝道師」としての先輩方です。科学ボランティアのこと、これからの将来のこと、仲間とのこと等々、気軽に声をかけてください。



安廣 孝弘

今年度から科学ボランティアセンターで、非常勤講師・コーディネーターとしてお世話になる安廣と申します。

新入生の皆さん御入学おめでとうございます。私は岡山理科大学理学部化学科卒業です。

岡山の公立中学校で理科の教師として40数年、小中学生が自然の素晴らしさや自然現象の規則性・原理に興味を抱くような教材の工夫や開発をし、日常に結びつく理科を目指した授業を心掛けてきました。この経験が理科の教職をめざしている学生さんや科学イベントに興味と意欲を持った学生さんのお役にたてばうれしいです。よろしくお願いします。

糸山 嘉彦

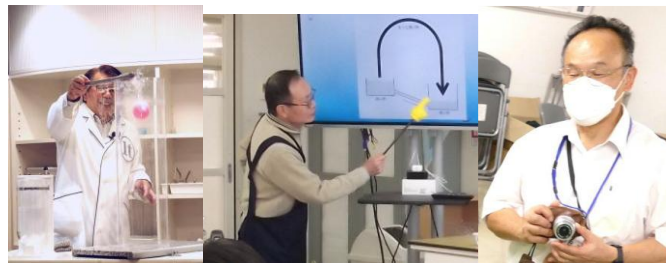
コーディネーター10年目、理科大学化学科出身の糸山です。

日頃は兼職している《人と科学の未来館サイピア》で「いっとな」というニックネームで来館した子



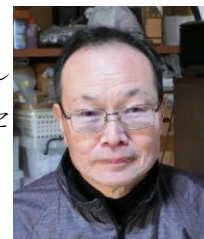
どもたちや一般の人を相手に年間150ステージ程の科学ショーや科学教室をやっています。春・夏のフェスティバルで、スタッフ会のメンバーに大変お世話になっています。またサイピア理大の日は学生の貴重な経験の場になっています。

みなさん、科学ショーや科学工作を一緒に楽しみましょう。



吉木 才三

もとは小学校教員を勤めていましたが、縁あって科学ボランティアセンターのコーディネーターになり、3年目を迎えました。



普段はあちこちの百円ショップ(?)やホームセンターに行き、何か実験や工作に使えるものはないかと詮索しています。

去年は恐竜博物館に初めて訪問してそのユニークさに感心しましたが、科学ボランティアセンターもそれに負けないぐらいの特色があります。フレッシュなメンバーを加えて、科学イベントをさらに楽しく盛り上げていくのが楽しみです！

春日 二郎

自然教室の担当コーディネーター、春日です。

自然教室の教材研究で、1年前は先人の知恵を知る為にかぎ針編みをマスターし、今年は葛餅の材料になる「くず粉」作りをしています。材料のクズは、科



学ボランティアセンターの上のグラウンドの木々に絡みつき、覆い被さっている厄介者です。クズは、食料・飼料・道具・手工芸の材料として、かつての日本では、里山の生活に欠かせない植物でした。これからクズとどう付き合おうか、、、自然教室で、子どもたちと一緒に考えましょう。



＝科ボセンにある使える備品＝

(コーディネーター 糸山嘉彦)

科学ボランティアセンターが所有する、たのしい、使える道具や機器たちを紹介します。

Vol.17《共鳴おんさ》

440Hzのおんさが、2個セットになっています。片方のおんさを鳴らすともう片方のおんさが振動し始める「共鳴現象」を確認するための実験器具で、音の伝わり方や共鳴の仕組みを学ぶのに最適です。センターには2セットあります。



Vol.18《どこでもシート》

実験機器ではないけれどぜひ紹介したいのがコレ。静電気で壁に貼り付き、ホワイトボードのように使える不思議な携帯シートです。ホワイトボード用マーカーで書き消しができ、貼り付けた状態で紙などをシートの上に貼り付けることも可能なので、張り紙禁止の壁でもOK。プロジェクターのスクリーンにもなり、繰り返し使える万能シートです

:::: 学生スタッフメンバーの紹介 ::::

[サイピア担当]

たっちゃん

理学部基礎理学科 3年生



科ボラに入ったキッカケ

私が科ボラに入ったきっかけは、小さな頃に参加した科学イベントでした。実験を見て「すごい！」「楽しい！」と感じた記憶がずっと残っていて、今度は自分がその楽しさを伝える側になりたいと思い、入部を決めました。

入ってすぐはボランティアの経験もなく、「自分にできるのだろうか」と不安もありましたが、先輩たちが優しく丁寧に教えてくださり、少しずつできることが増えていきました。その中で、「ここなら大丈夫」と思えるようになり、安心して活動できています。また、多くの学部・学科の学生が参加しているため、学生同士の交流も広がりました。

科ボラでの活動

私が参加したイベントの中で特に印象に残っているのは、初めてブース責任者として行った「ガウス加速器」の実験です。高校生の頃から物理が好きで、「物理に関する実験をやってみたい」と思い、先輩やコーディネーターの先生方と相談しながら実現した企画です。

準備の段階では、どのようにすれば分かりやすく、かつ楽しんでもらえるかを考えるのが大変でしたが、その分、本番で子ど

もたちが興味を持ってくれたときはとても嬉しく、大きな達成感を感じました。また、別のイベントで再会したお子さんから「以前のガウス加速器の実験が楽しかった」と声をかけてもらい、やってよかったと心から感じました。科ボラでは国内だけでなく、海外でも活動することができます。2025年5月にはモンゴルのウランバートルを訪れ、現地の中学生を対象にワークショップを行い、実験を通して理科の楽しさを伝えました。また、現地の大学生が主催する科学イベントにも参加し、地域の子どもたちと交流する機会もありました。

さらに、2026年3月にはベトナムのホーチミンを訪れ、STEAMに関するイベントに参加したほか、現地の日本語学科の学生と異文化交流も行いました。言葉や文化の違いに戸惑うこともありましたが、それ以上に多くの学びや新しい発見があり、とても貴重な経験となりました。

科ボラではこのように、コミュニケーション能力や企画力など、社会に出ても活かせる力を身につけることができます。少しでも興味を持った方は、ぜひ気軽に参加してみてください。





2012年度より科学ボランティアセンターのセンター長を務められた高原周一先生が、退任されることになりました。先生はご専門の物理化学分野での研究はもちろん、科学ボランティアの人材育成についての研究でも第一人者として、モンゴルなど国外の教育機関とのつながりを深め、学生を導いてくださいました。

2025年度まで、長らく科学ボランティアセンター長を務めていましたが、2026年度からアクティブラーナーズコース長に就任したため、センター長を退きました。ただ、科学ボランティアセンターの活動や関連する授業には引き続き参加しますので、よろしくお願ひします。センター長として力を入れてきたことの一つに科学ボランティア活動を通じた国際交流があります。この活動は、本学に来学した海外の学生さん達との交流会から始まりました。2019年からは科ボラの学生さん達と一緒にモンゴルを年に1回訪問し、現地の大学生と一緒に科学イベントを行ったり、中高生に対してミニ授業を行ったりしています。2026年3月には初めてベトナムを訪問し、現地の大学生との交流会などを実施しました。写真はホーチミン市師範大学で行われた小学校教員対象の研修会で「紙トンボ」（牛乳パックで作る竹とんぼ）の説明をしているところです。2026年度も9月にモンゴル訪問を予定しています。こういった活動に参加すると、国際交流の楽しさを満喫できます。また、視野がグローバルに広がり、語学力もアップします。皆さんもぜひ科ボラの国際交流活動に参加しましょう！



3月22日(日) 卒業式 スタッフ会で卒業生を送る会を行いました

4月3日(金)～ 新入生歓迎セレモニー オリエンテーション



今後の予定

4月19日	日	00:00～00:00	4次元デジタル宇宙ビューアー ミタカ	[人と科学の未来館サイビア]
4月23日	木	18:30～19:00	自然教室講習会	[B0421教室]
4月26日	日	10:00～12:00	岡山理科大学で学ぶ自然教室	[B0421教室]
5月3日	日	10:00～15:00	春のサイビアフェスティバル	[人と科学の未来館サイビア]
5月4日	月	10:00～15:00	春のサイビアフェスティバル	[人と科学の未来館サイビア]
5月5日	火	10:00～15:00	春のサイビアフェスティバル	[人と科学の未来館サイビア]
5月14日	木	13:30～14:00	ESG倉敷こども園岡山理科大学見学	[岡山理科大学内講義室]
5月17日	日	10:00～12:00	わくわく科学実験教室	[人と科学の未来館サイビア]
		14:00～16:00	サイビア理大の日	[人と科学の未来館サイビア]
5月23日	土	13:00～15:00	わくわく科学実験	[岡山市立東山公民館]
5月24日	日	10:00～12:00	岡山理科大学で学ぶ自然教室	[B0421教室]
6月18日	木	10:40～12:00	伊島小学校津島児童学院 科学実験教室	伊島小津島児童学院内派遣学級]
		10:00～12:00	わくわく科学実験教室	[人と科学の未来館サイビア]
6月21日	日	14:00～16:00	サイビア理大の日	[人と科学の未来館サイビア]
		10:00～12:00	岡山理科大学で学ぶ自然教室	[B0421教室]

科学ボランティアセンターは、地域との窓口になり、学生の皆さんが活躍できる場を提供し、イベントでのパフォーマンスを高めるお手伝いをしています。大学のサークルとは別に、科学ボランティアセンターの「スタッフ会」に在籍することで、さまざまな情報を得ることができます。

ぜひ、B4号館階段下のセンターへお越しください。